

きさらづ「ゼロカーボンシティ宣言」

地球温暖化が原因とされる気候変動は、世界各国に洪水や干ばつなどの自然災害を頻発させ、「気候危機」と言うべき状況となっています。2015年には、COP21においてパリ協定が採択され、「産業革命前からの平均気温の上昇を2℃より十分下方に保持し、1.5℃に抑える努力を追求する」との国際目標が広く共有されました。

わが国においては、パリ協定に基づく長期戦略として、今世紀後半のできるだけ早い時期に脱炭素化社会の実現を目指すことが掲げられ、2020年10月には、菅首相の所信表明において、2050年にカーボンニュートラルを目指すことが宣言されました。

本市では、人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承しようとする取組である“オーガニックなまちづくり”を推進しております。その一環として、「きさらづストップ温暖化プラン」を掲げ取組を進めておりますが、改めて、この国際的な課題である「気候危機」に対して地域で責任をもって対策を講じ、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

重点取組事項

- 1 環境意識の啓発による、省エネ型ライフスタイルの定着
- 2 再生可能エネルギーによる、エネルギーの地産地消の強化
- 3 資源の再利用や再資源化による、循環型社会の形成
- 4 森林や干潟などの保全による、温室効果ガス吸収源の確保
- 5 環境に配慮した設備や仕組みを面的に導入したまちづくりの推進

2021年2月10日

木更津市長

渡辺芳和

